



河小だより

四日市市立河原田小学校
第24号 令和4年3月23日

早いもので令和3年度も残すところ2日となりました。今年度もコロナに大きく影響された1年で、計画を大きく変更したり、制限したり、あるいは中止にしたりした行事がいくつかありました。臨時休校やオンライン学習もあり、保護者の皆様に大変ご協力いただいたことも多数ありました。にもかかわらず、保護者の皆様にはご理解いただくとともに、温かい励ましのお声も多数いただきました。本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。引き続き、令和4年度もご協力をお願いします。

● 4つの「C」を意識して

一生懸命に授業に向かう姿、友達と仲良く笑顔で笑い合う姿、技の上達を目指して縄跳びや一輪車にチャレンジする姿、「校長先生、つくし、あったよ」とまっすぐな眼差しで話してくれる姿…。この1年間、子どもたちの素直で素敵な姿をたくさん見てきました。1年間で大きくたくましく成長した姿を目にしました。できることがどんどん増えていっています。考え方や感じ方も広がってきています。子どもたちの成長には本当に驚かされます。4月からさらに大きく成長することを願っています。そんな願いを込めて、3月25日（金）の修了式では、子どもたちに次のような話をする予定です。

この1年間で、河原田小学校のみなさんはとても大きく成長しました。それはみなさん自身も感じているのではないのでしょうか？ 4月にはできなかったことも、今は普通にできているということがいくつもあるのではないのでしょうか？ みなさんが成長していく姿を目にして、先生たちはとてもうれしく思います。これから先も、もっと成長して、もっとできることを増やして欲しいと思います。そのために、校長先生がいつも話している「あいさつなど、人と人をつなぐ言葉を大切にすること」「勉強を一生懸命すること」「自分の良さ、友達の良さをたくさん見つけること」をこれからも大切にしていってください。

さて、今日は「4つのC」というお話をします。2週間の春休みが終わったら、みなさんは学年が1つあがり、新しいスタートを迎えます。春は何かChallenge（チャレンジ）するには、絶好のChance（チャンス）です。「得意なことを伸ばすチャンス」「苦手なことを克服するチャンス」です。このチャンスをぜひ生かしてください。また、自分を変えるチャンスでもあります。例えば、思っていることがなかなか言いだせない自分、頑張ろうと思っても長続きできない自分、誘惑に負けてしまいゲームがやめられない自分、そんな自分を変えるチャンスです。3つめのCはChange（チェンジ）です。なりたい自分になれるよう、より良い自分になれるよう、自分を磨いていきましょう。そして、4つ目のCはContinue（コンティニュー）です。意味は「続ける」です。チャンスをものにし、チャレンジを成功させるには、コツコツと丁寧に1つ1つ積み上げていくことが大切です。「継続は力」です。この4つ目のCがとても大切です。

春休みの間に、来年の3月の自分の姿をできるだけ具体的にイメージしてください。そして、未来の自分に近づけるように、どんなことをすればよいのか、どんなことを頑張ればよいのか、どんなことを大切にすればよいのかなど、具体的な行動を考えてみましょう。これが春休みの校長先生からの宿題です。よ～く、考えてみてください。

- 来年度の家庭訪問は、4月25日（月）【南河神社前，南河会所前，南河県営，南河駅前】、26日（火）【大治田北，大治田東，川尻，貝塚，内堀】 27日（水）【北河東】 28日（木）【北河東，北河西，河原田苑北，河原田苑南】 5月6日（金）【予備日】の日程で、希望者対象に行います。ご予約ください。詳細は4月にお知らせします。
- 4月23日（土）は、授業参観（給食あり）を計画しています。密をさけるために、出席番号で時間帯を指定し、分散形式で行います。詳細は4月にお知らせします。ご予約ください。なお、5月2日（月）は代休を予定しています。
- 上記2つの内容は、現時点での計画です。感染状況によっては、変更することもあります。

● 第113回 卒業証書授与式

3月18日(金)、39名の卒業生が河原田小学校を巣立っていきました。39名全員が出席して卒業式を行えたことを、本当にうれしく思います。感染症対策のため、人数制限や時間短縮に加え、合唱やこれまでのような「呼びかけ」も行わないようにと指示がありましたので、かなり制限された中での卒業式となりました。そんな中でも、呼名の際の力強い返事や卒業証書を受け取る際の立ち振る舞い、マイクを使って一人ずつ行う「呼びかけ」等、緊張感を持ち、凜とした引き締まった子どもたちの表情や所作から、子どもたちの成長を感じました。また、これから先、いろいろなことを経験しながら、さらに大きく成長していく可能性を強く感じました。式辞の中で、「夢をかなえるためには、『運』や『人間性』を高めることも必要」「そのために、あいさつをしっかりとしたり、物を丁寧に扱ったり、常に感謝の気持ちを持つこと」そして、「これから先、いくつかの困難があるかも知れないが、お家の方や地域の方に支えてもらっていることを自信とし、しっかりと歩いてほしい」とエールを送りました。



● 「春のあんしんネット・新学期一斉行動」が実施されています

多くの青少年が初めてスマホ等を手にする、春の卒業・進級シーズンに重点を置き、多くの省庁や行政機関、企業等が連携し、ペアレンタルコントロールの普及促進や青少年のインターネットを適切に活用する能力の向上に資する啓発活動等の取組が集中的に行われています。(ペアレンタルコントロールとは、保護者によるフィルタリングや時間管理、課金制限等の機能の利用、家庭内でのルールづくり等のことです。つまり、子どもに悪影響が出ないように、保護者がお子さんに与えたスマホやゲーム機等の使い方をきちんと把握し、管理しましょうということです。)

これまでの河小だよりでもお伝えしてきましたが、平日の1日当たりのテレビ、ゲーム、動画視聴等の時間が3時間以上であると答えた本校の児童は31%です。今年度はあまり聞かえてきませんでした。ネットゲームや通信アプリ等を介したトラブルが小学生でもよくあります。最初は些細な行き違いから人間関係が大きく崩れたり、大きなトラブルにつながったりすることがよくあります。

25日(金)の修了式が終わると、約2週間の春休みが始まります。自由になる時間がたっぷりあります。お子さんと話し合ってください、スマホやゲーム機等の使い方のルールについて確認をお願いするとともに、お子さんがどのように使っているのか、友達とどのようなやりとりをしているのか等の把握をお願いします。イラストやQRコードは警察庁や内閣府が出している啓発資料です。お時間のある時にお子さんと一緒にご覧いただきたいと思ひます。

保護者のかたへ フィルタリングは必ず設定しましょう!!

被害児童の約9割が、被害時にフィルタリングを利用していませんでした。フィルタリングには、子供の年齢等に応じて利用時間を設定したり、アプリケーションの利用を個別に許可または制限することができる機能もあります。また、携帯電話機だけではなく、タブレット端末や携帯ゲーム機等の子供が利用する機器に応じた適切な管理が重要です。子供に携帯電話機を持たせる場合は、子供を犯罪から守るためにも、保護者の皆様が積極的にフィルタリングの設定をしてあげましょう。

詐欺 暴力 不審者 薬物 アダルト

フィルタリング



初めて小学校に勤務をし、多くの発見がありました。その中でも、子どもたちと地域の方、学校と地域のつながりが数多くあり、地域の中で子どもたちは見守られ、支えられ、育てられているということを感じました。大変お世話になりました。今年度はコロナ禍ということもあり、制限されたり中止となったりした行事や取組もありました。来年度以降、感染状況を見ながらではありますが、できる限りのお力添えをお願いします。常に「地域とともにある学校」を意識しながら、「ささえ愛のまち 河原田」の一員である子どもたちを育てていきたいと考えています。1年間、本当にありがとうございました。これからもどうぞよろしくお祈りします。